

「文化・生涯学習振興に関するアンケート」実施報告

環境生活部文化振興課が実施しました「文化・生涯学習振興に関するアンケート」について、825名の方からご回答をいただきました。

アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

平成30年8月10日（金）～平成30年8月24日（金）

(2) アンケート回収状況

対象者数 1,146名

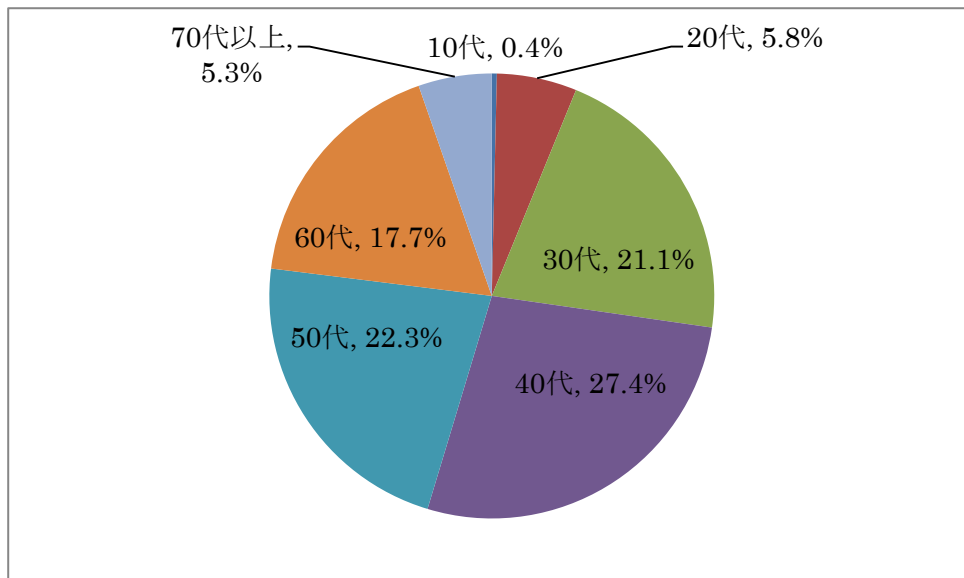
回答者数 825名

回答率 72.0%

(3) 回答者属性

【年代別】

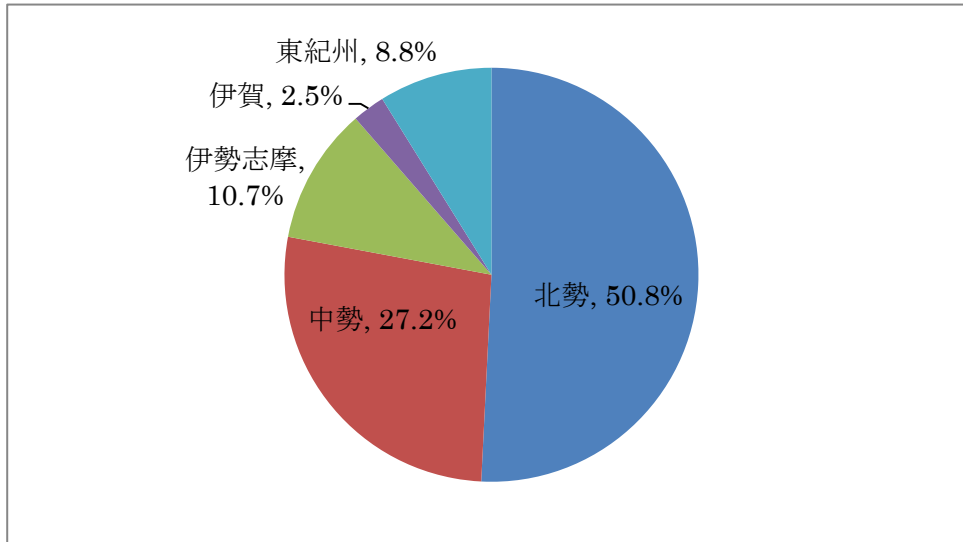
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	計
回答者数（人）	3	48	174	226	184	146	44	825
割合	0.4%	5.8%	21.1%	27.4%	22.3%	17.7%	5.3%	100.0%



※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【地域別】

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	計
人数	419	224	88	21	73	825
割合	50.8%	27.2%	10.7%	2.5%	8.8%	100.0%

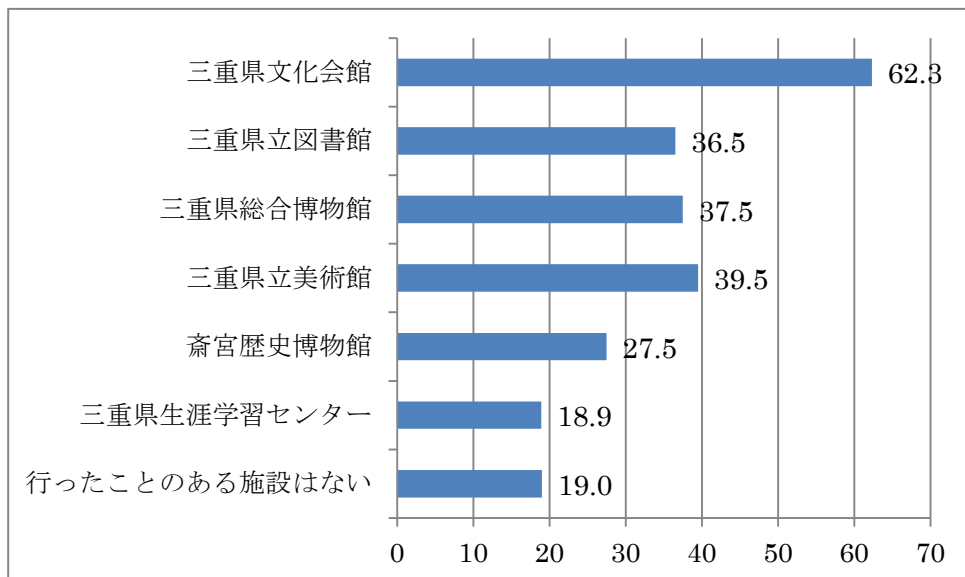


(4) アンケート集計結果

Q1 これまで行ったことのある県立文化施設について

次の県立文化施設のうち、あなたがこれまでに行ったことのある施設はどれですか。

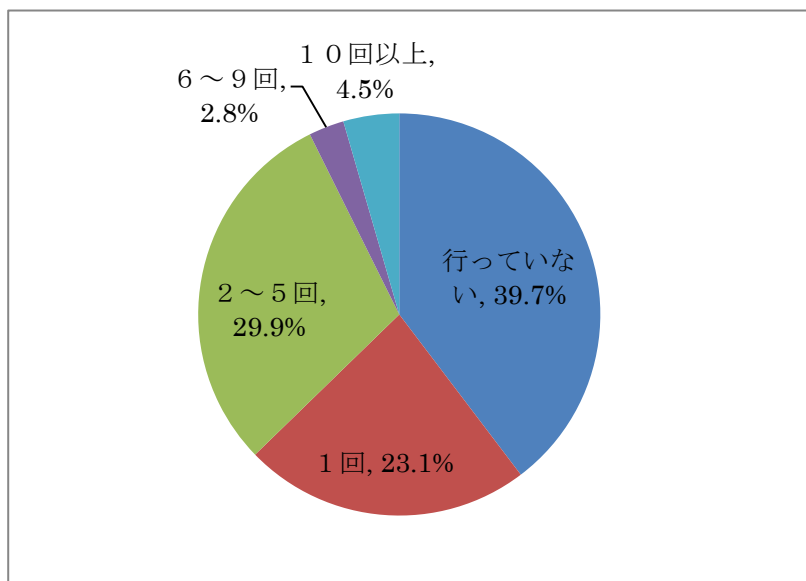
(単位：%)



県立文化施設に行ったことがあるとの回答は全体の約8割となりました。個別にみると、「三重県文化会館」(62.3%)が他の県立文化施設と比べて特になくなりました。これは、同館では他館と比較するとコンサートや演劇をはじめとして、さまざまな公演やイベントが数多く行われているためではないかと思われます。

Q 2 昨年1年間で県立文化施設に行った回数について

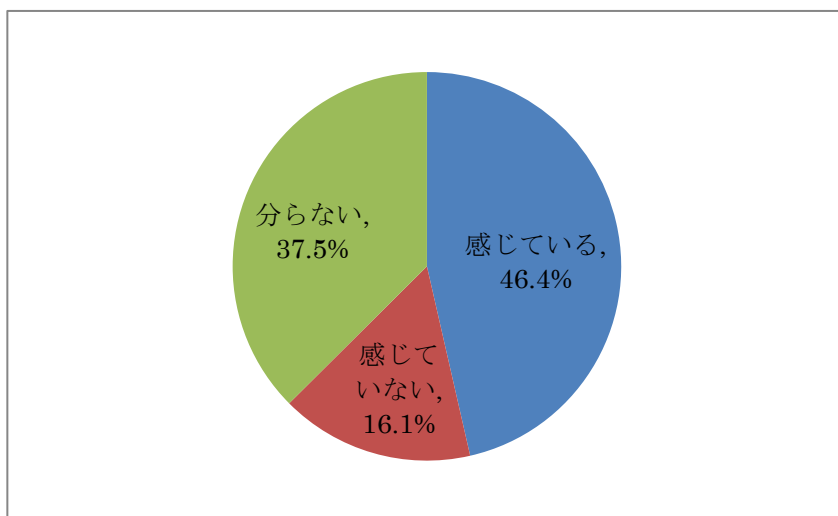
あなたは、昨年1年間で展覧会や公演、イベント等のため、県立文化施設に何回ぐらい行きましたか。



Q 1 でこれまでに県立文化施設に行ったことがあると回答した方を対象に、昨年1年間に県立文化施設に行った回数をお聞きしたところ、「2～5回」(29.9%)が最も多く、次いで「1回」(23.1%)、「10回以上」(4.5%)、「6～9回」(2.8%)の順となりました。一方で「行っていない」(39.7%)との回答も約4割ありました。

Q 3 県立文化施設において文化芸術にふれたり、学んだりする機会について

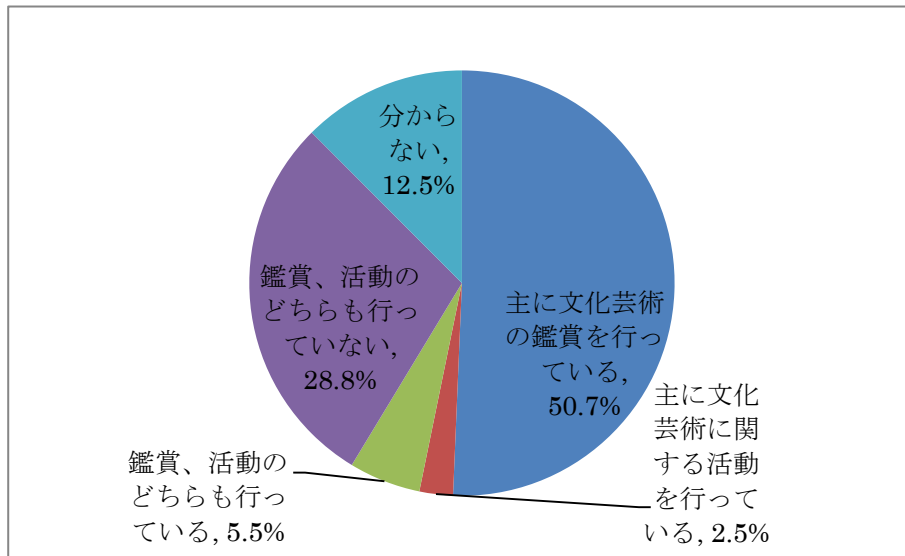
あなたは、県立文化施設で開催される展覧会や公演、イベント等において、優れた文化芸術(芸術性の高いもの、おもしろくて楽しいもの)にふれたり、学んだりする機会を得ることができると感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。



「感じている」(46.4%)との回答が約半数ある一方で、「感じていない」(16.1%)又は「わからない」(37.5%)との回答も約半数ありました。

Q 4 文化芸術にふれ親しむ方法について

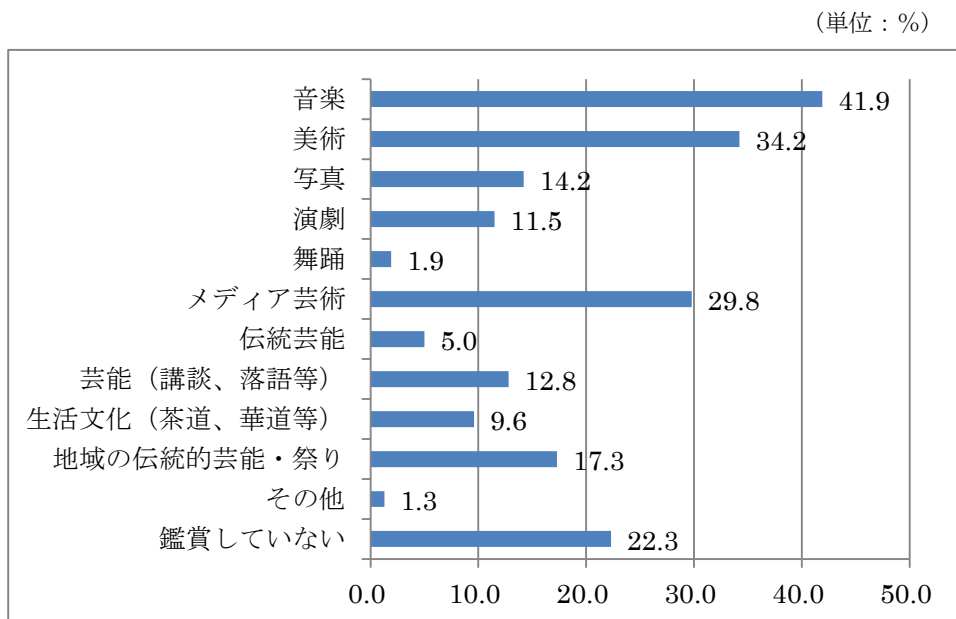
あなたが日常生活で文化芸術にふれ親しむ方法として、最も近い行動はどれですか。



「主に文化芸術の鑑賞を行っている」(50.7%)が最も多く、「鑑賞、活動のどちらも行っている」(5.5%)、「主に文化芸術に関する活動を行っている」(2.5%)の順となりました。一方、「鑑賞、活動のどちらも行っていない」との回答も約3割ありました。

Q 5 鑑賞した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが鑑賞した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



「音楽」(41.9%)、「美術」(34.2%)、「メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）」(29.8%)が上位を占めています。

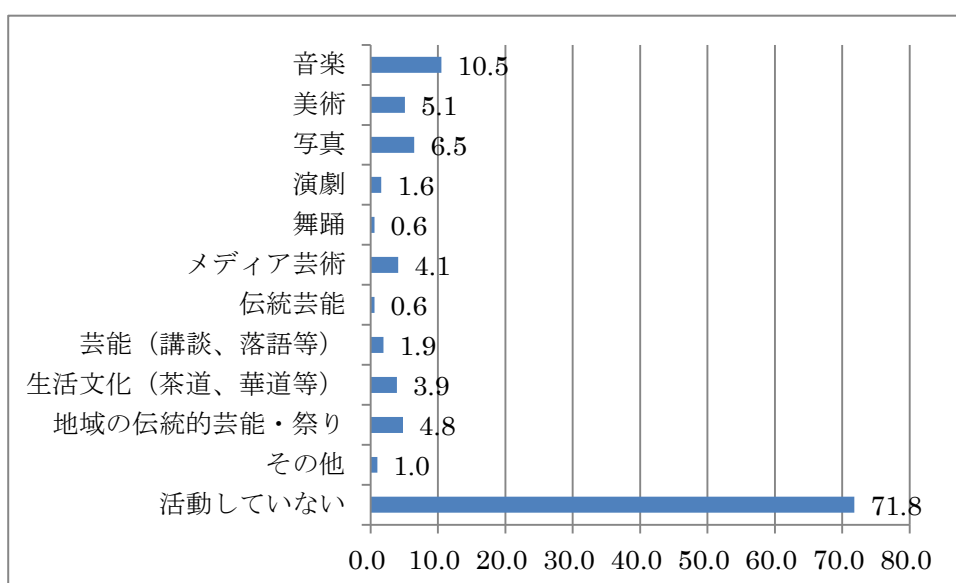
なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・ 詩吟
- ・ 津軽三味線
- ・ 着物歴史衣装
- ・ 萬古焼
- ・ 舞台、小説
- ・ 仏閣巡り

Q 6 活動した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが活動した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



「音楽」(10.5%)が最も多く、「写真」(6.5%)、「美術」(5.1%)、「地域の伝統的芸能・祭り」(4.8%)、「メディア芸術(映画、漫画、アニメーション等)」(4.1%)の順に多い結果となりました。

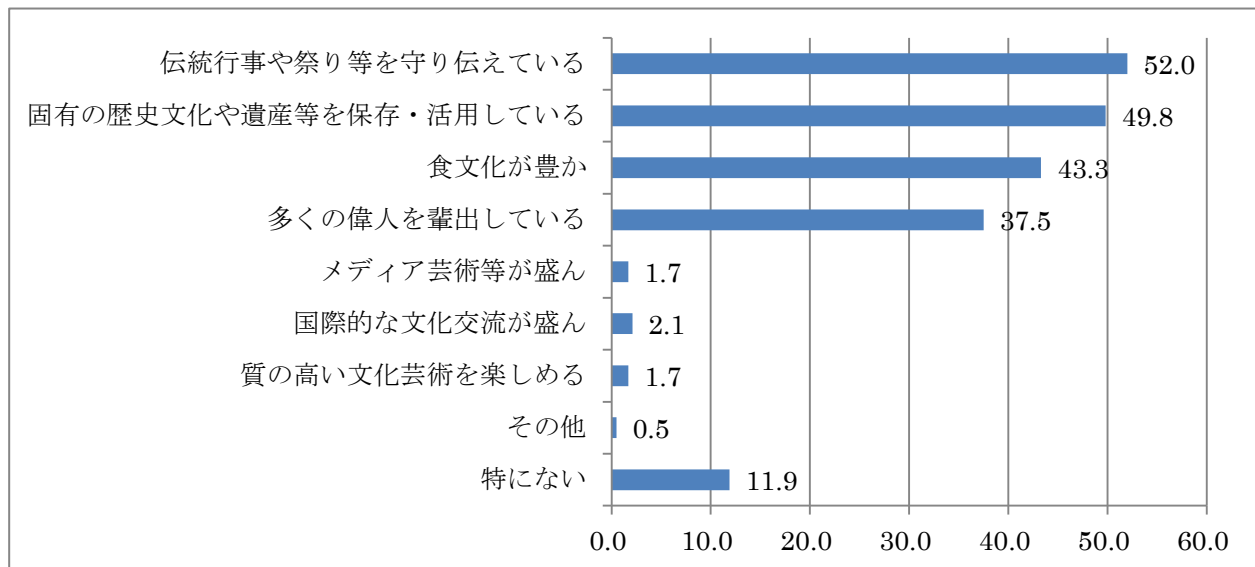
なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・ 詩吟、漢詩
- ・ 津軽三味線
- ・ 着物歴史衣装
- ・ 陶芸
- ・ 英語を使った国際交流

Q7 三重県の文化の特徴だと思うものについて

あなたが三重県の文化の特徴だと思うものはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

(単位：%)



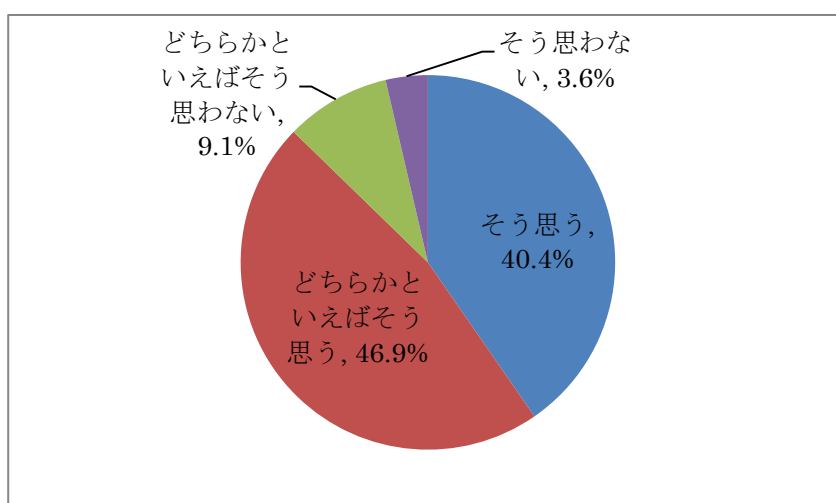
「伝統行事や祭り等を守り伝えている」(52.0%)、「固有の歴史文化や遺産等を保存・活用している」(49.8%)、「食文化が豊か」(43.3%)、「多くの偉人を輩出している」(37.5%)が上位を占めました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・伊勢神宮関連の祭祀
- ・忍者

Q8 三重県に対する誇りや愛着について

あなたは、三重県には全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等があり、愛着を感じるのでしょうか。



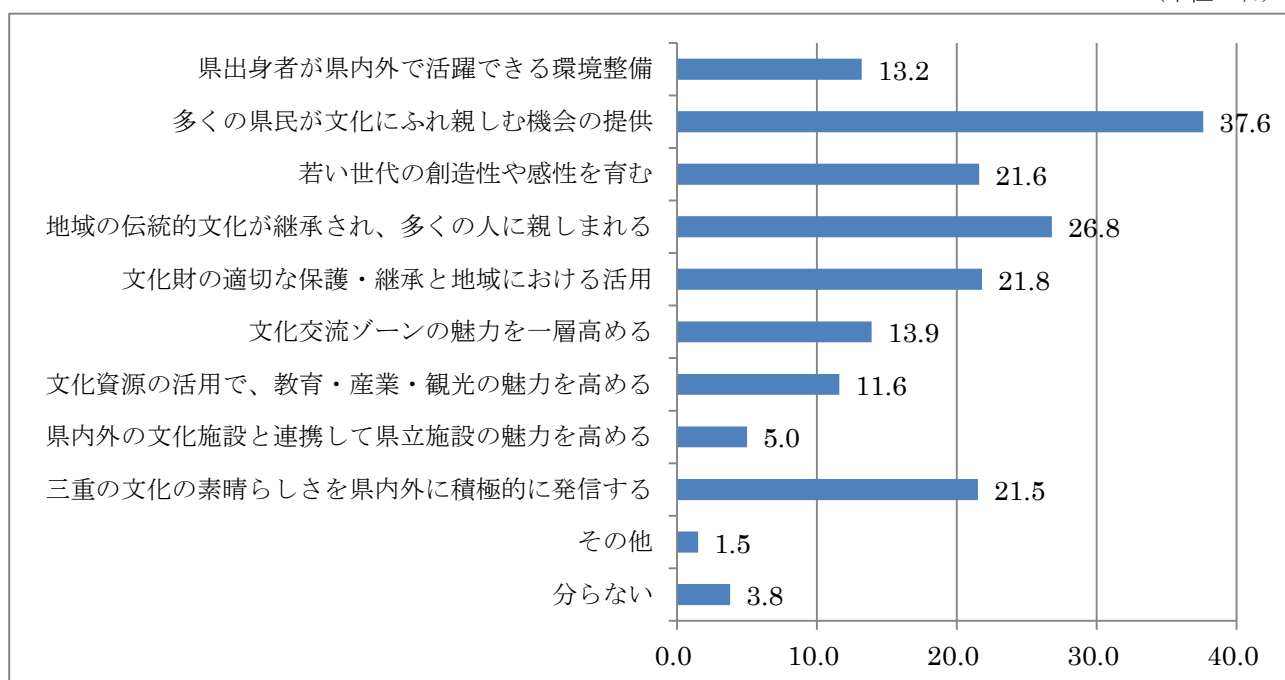
昨年度のアンケート結果と比較すると、「そう思う」（40.4％）の回答率が2ポイント上がる一方、「どちらかといえばそう思う」（46.9％）の回答率が2.3ポイント下がりました。この2つを合わせると、昨年度に比べ0.3ポイント下がったものの、約9割の方が三重県に誇りや愛着を感じているという回答になりました。

Q9 今後県が力を入れるべき文化施策について

あなたは、県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

※選択肢内の文化交流ゾーンとは、三重県総合博物館の整備を契機として、新たに魅力あふれる「県民の学び・交流・体験の場」となるよう発展を目指す県立美術館を含めた県総合文化センター周辺地域のことです。

(単位：％)



「多くの県民が文化にふれ親しむ機会の提供」（37.6％）が最も多く、「地域の伝統的文化が継承され、多くの人に親しまれる」（26.8％）、「文化財の適切な保護・継承と地域における活用」（21.8％）、「若い世代の創造性や感性を育む」（21.6％）、「三重の文化の素晴らしさを県内外に積極的に発信する」（21.5％）の順に多い結果となりました。

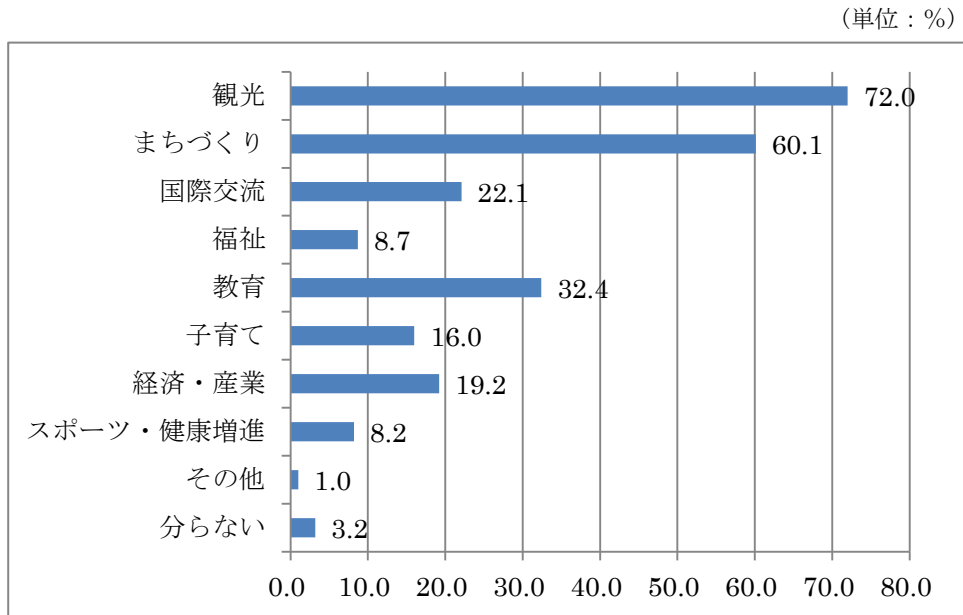
なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・子供達の勉強になること
- ・スポーツを通じた文化の形成と地域への愛着心
- ・三重県の文化に拘らず、世界の文化を吸収する熱意がほしい
- ・あたらしい文化を創造していくこと
- ・一流の芸術に触れる機会を増やすとともに、自由な創作活動等を行える環境整備、支援
- ・休館日が多いのもっと誰でも行けるようにしてほしい（休館日を隔週にする等）

- ・総合博物館と県立美術館の整備だけでは地域的に偏るため、利用できない人も多い
- ・津市だけでなく、伊勢周辺にも施設を建設してほしい

Q10 文化芸術を生かしたら良いと思う分野について

あなたは、文化芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。



「観光」(72.0%)、「まちづくり」(60.1%)、「教育」(32.4%)、国際交流(22.1%)が上位を占めました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・県文化センター中心ではなく、南部、北部の人にも鑑賞しやすいように、中部だけではなくそういったセンターを北部や南部にも置くべき
- ・三重として文化芸術・文化施設を発信か承継か、未来に向けて考察すべき
- ・大都市等に見劣りしない文化環境の形成による地域間競争への対応
- ・県財政の大きな収入源に
- ・山づくり